

# 令和7年度 高等部生徒アンケート 集計結果

評価が良かった（している等+まあまあ）%

評価が良くない（していない等+わからない）%

※グラフ右下の数字は、上記の数字を表す

※小数点以下は四捨五入

## 1 目標などについて

1	設問	学級や個人の目標を意識して活動していますか。			
	回答	とてもしている	61 %	95 %	
		まあまあしている	34 %		
		していない	3 %		5 %
		わからない	2 %		
設問	高等部での学習をとおして、自分は成長していると思いますか。				
2	回答	とても思う	57 %	91 %	
		まあまあ思う	34 %		
		思わない	3 %		9 %
		わからない	6 %		
3	設問	学校の活動にやりがいを感じますか。			
	回答	とても感じる	58 %	88 %	
		まあまあ感じる	30 %		
		感じない	8 %		12 %
		わからない	4 %		

## 2 学習などについて

1	設問	授業が理解できますか。			
	回答	とてもできる	69 %	99 %	
		まあまあできる	30 %		
		できない	0 %		1 %
		わからない	1 %		
2	設問	先生はていねいにわかりやすく教えてくれますか。			
	回答	とてもしてくれる	81 %	97 %	
		まあまあしてくれる	16 %		
		してくれない	0 %		3 %
		わからない	3 %		
3	設問	学校の施設・設備（校庭・体育館・食堂・作業室・特別教室の施設等について）に満足していますか。			
	回答	とてもしている	61 %	88 %	
		まあまあしている	27 %		
		していない	8 %		12 %
		わからない	4 %		

### 3 友達などのかかわりについて

1	設問	学級、学年では、協力して活動できていますか。		
	回答	とてもできている	80 %	
		まあまあできている	19 %	
		できていない	0 %	
		わからない	1 %	
			99 %	
			1 %	
2	設問	友達と仲良かかわっていますか。		
	回答	とてもかかわっている	75 %	
		まあまあかかわっている	17 %	
		かかわっていない	5 %	
		わからない	3 %	
			92 %	
			8 %	
3	設問	先生は何でも相談にのってくれますか。		
	回答	とてもしてくれる	81 %	
		まあまあしてくれる	14 %	
		のってくれない	2 %	
		わからない	3 %	
			95 %	
			5 %	

	回答数	回収率 (実施率)
合計	64	65 % (64/99名)

#### 【自由記述】

- ・友達が増えた。
  - ・学校生活楽しいです。
  - ・毎日学校楽しいです。(2)
  - ・給食がおいしい。(3)
  - ・前の中学校より友達・先輩・先生が増えた。
  - ・みんなと協力して活動して良かった。
  - ・利府支援に入って、私は人との信頼を深め、大体のコミュニケーションが出来ることができました。
  - ・これからもよろしくお願いします。
  - ・ありがとうございます。
  - ・ダンス楽しかったです。
  - ・あと少しで卒業です。がんばります。
  - ・現場実習のときに、先生が、急にばかにされたり、着替えているときに急にけられたりしました。これからもこのようなことが起きないようにご指導お願いします。
- (※個別に聞き取りを行い、指導しました。)

### 【生徒アンケート集計結果に関する分析と考察】

- 「している」、「できる」、「思う」と「まあまあしている」、「まあまあできる」、「まあまあ思う」を合わせて91%以上を示した項目は、「評価が良かった項目」とする。
- 「していない」、「できない」、「思わない」と「わからない」を合わせて10%以上を示した項目は、「評価があまり良くなかった項目」とする。

評価の内容	該当項目
評価が良かった項目 (できる・思う等+まあまあ：91%以上)	【目標】 1、2 【学習】 1、2 【友達】 1～3までの全ての項目
評価があまり良くなかった項目 (できない・思わない等+わからない：10%以上)	【目標】 3 【学習】 3

#### ●評価が良かった項目

評価が良かった項目の「【目標】1」、「【学習】1、2」、「【友達】1、3」の項目で評価が95%以上となった。生徒の多くは、学校生活を有意義に過ごしているとうかがえる。

#### ●評価があまり良くなかった項目

評価があまり良くなかった項目は、「【目標】3 学校活動のやりがい」、「【学習】3 施設・設備の満足度」であった。

##### ・「【目標】3 学校活動のやりがい」

生徒たちの多くは、掲げた目標に向かって、新しくできた友達と協力し合いながら活動に取り組んでいる様子が見えるが、やりがいを感じるまでに至らない生徒も数名いる。さらにもう一段階上のものを目指せるような目標の設定や活動の設定と工夫を行っていく必要があるのではないかと考える。

##### ・「【目標】3 施設・設備の満足度」

生徒数に対する教室の数や広さ、老朽化も伴い、満足度は低くなっているのではないかと考える。やりがいのある楽しい学習活動や安心安全に学校生活を送ることができるよう、これまで以上に学習における場の工夫をしていく必要があると考える。

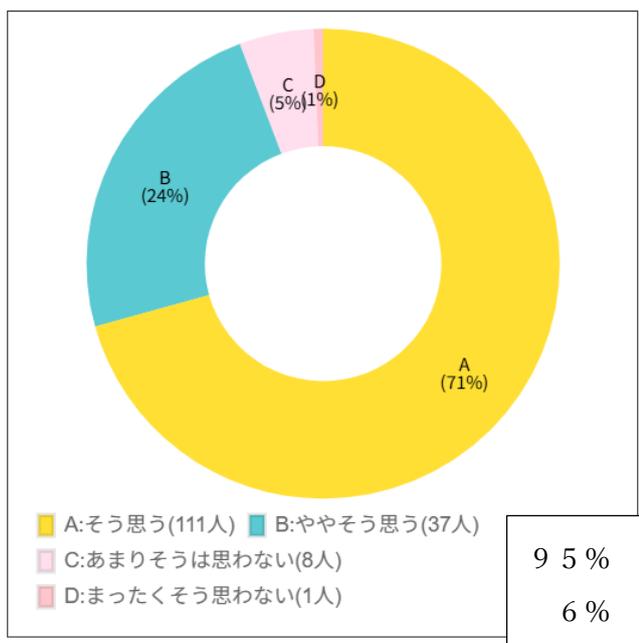
# 令和7年度 保護者アンケート 集計結果 (回収率：88%)

評価が良かった (A+B) %  
 評価が良くなかった (C+D) %

※グラフ右下の数字は、上記の数字を表す  
 ※小数点以下は四捨五入

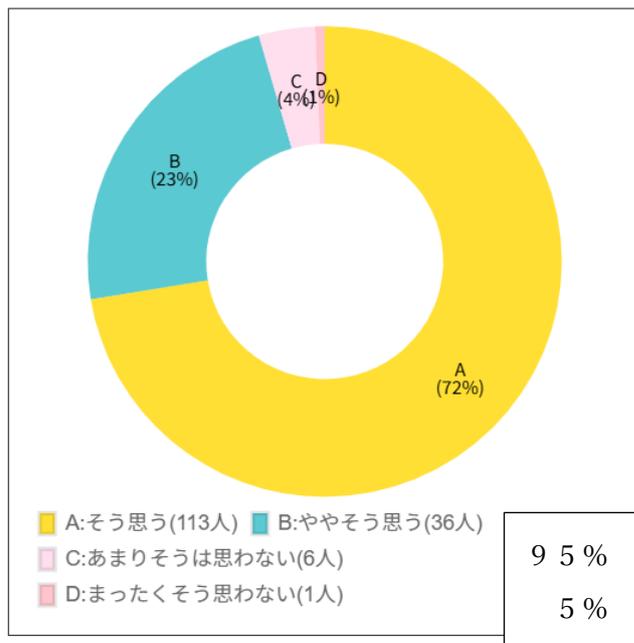
## <設問1>

お子さんの様子から学校生活は楽しそうで充実していると感じることができますか。



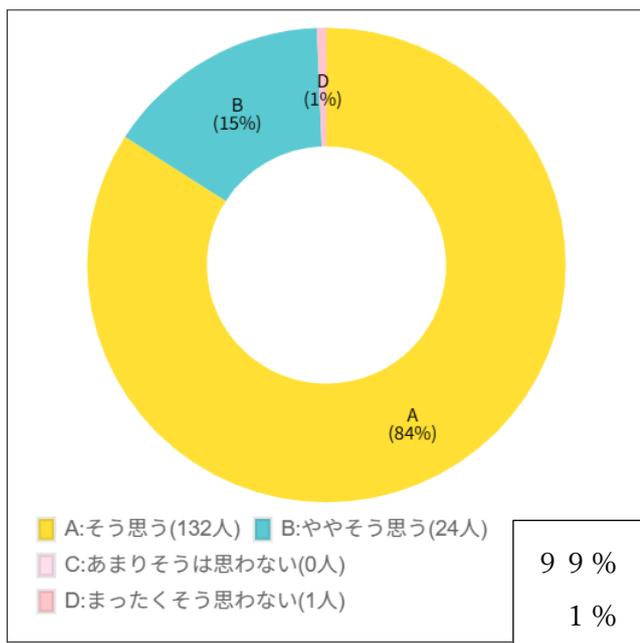
## <設問2>

お子さんへの指導は、工夫や改善により、実態に応じたより適切なものになっていますか。



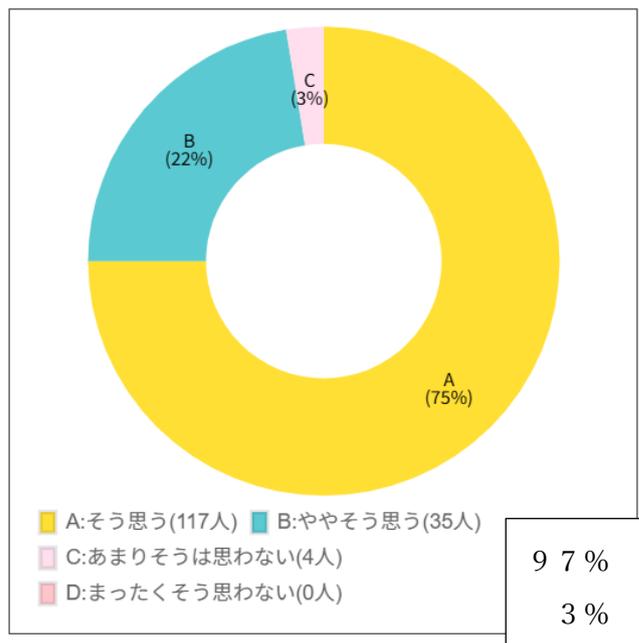
## <設問3>

保護者面談の話し合いでは、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」、「通信票」などを基に、お子さんの指導について、十分な説明をいけていますか。



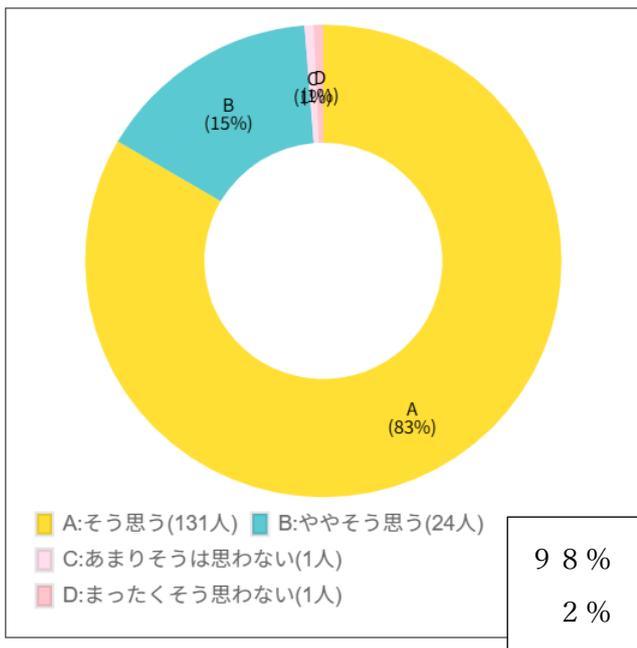
## <設問4>

お子さんのことについて必要な面談や相談の機会がとれ、十分な情報交換がされていますか。



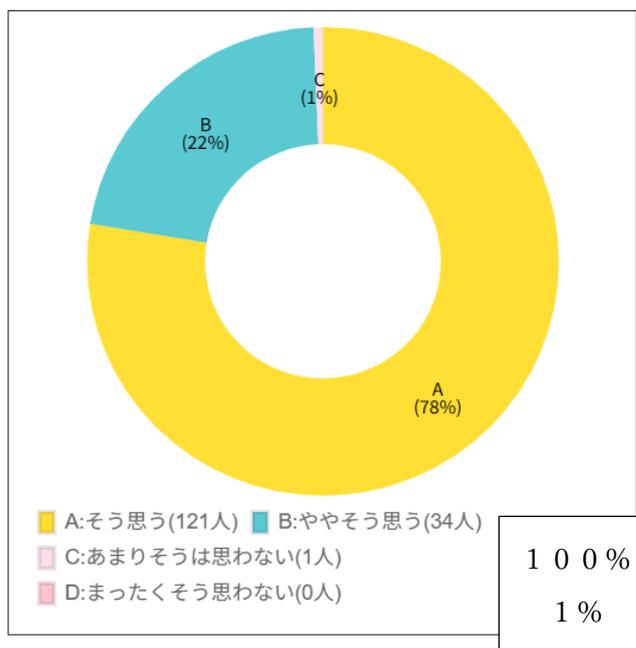
<設問5>

通信票はお子さんの成長の様子を的確に伝え、適切に評価されたものになっていますか。



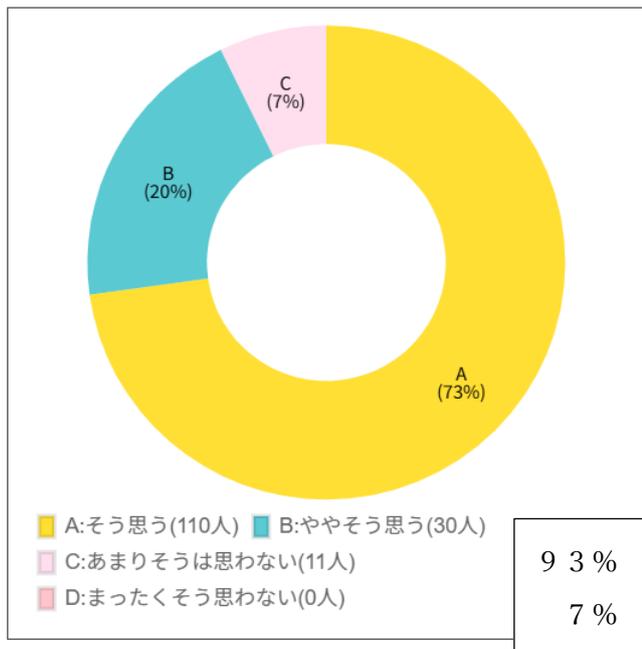
<設問6>

学校はお子さんの健康について配慮し、適切に対応していますか。



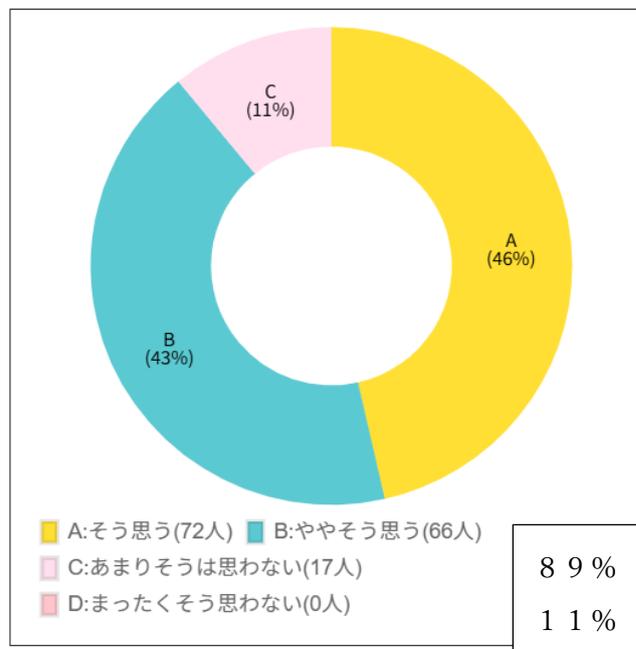
<設問7>

学校はいじめ未然防止及び早期発見、早期対応に努め、安心して生活できる教育環境づくりに取り組んでいますか。



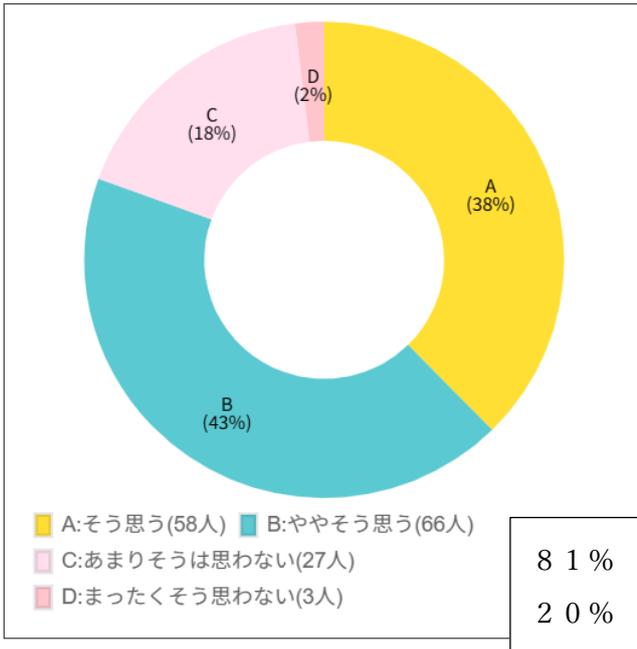
<設問8>

校舎内外は安全で清潔ですか。



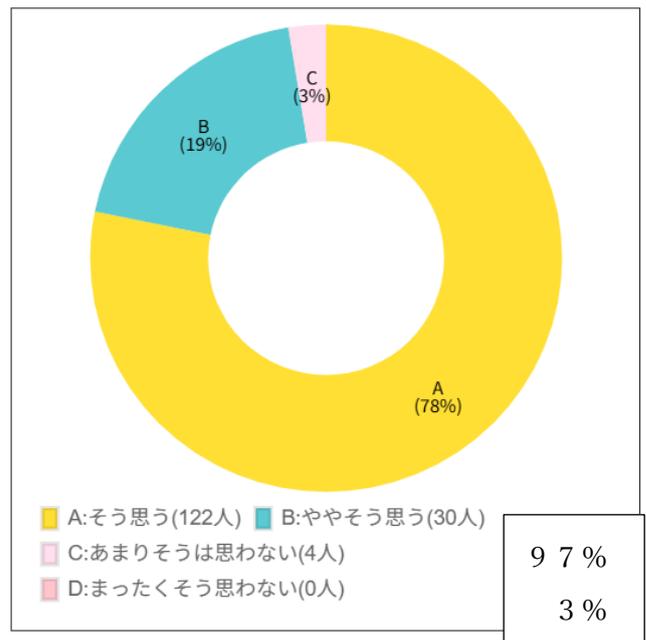
<設問 9 >

学校には学校生活に必要な施設設備が整っていますか。



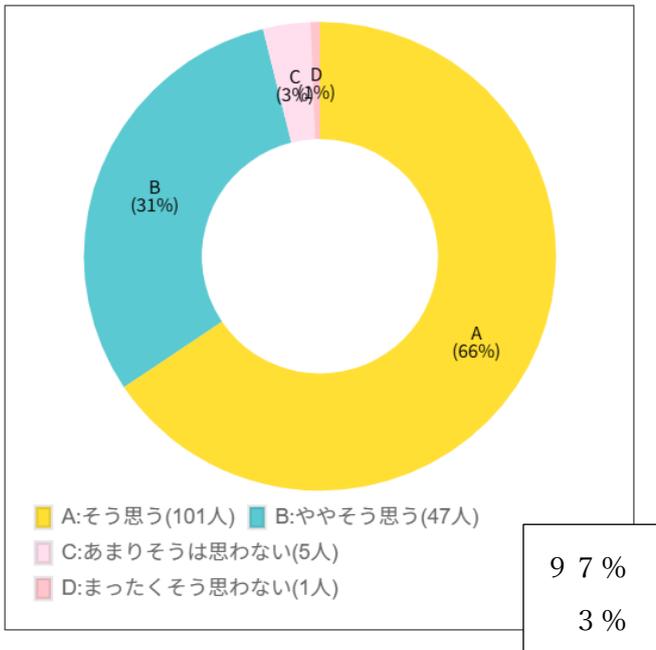
<設問 10 >

学校は学習の様子を学校便りや学年・学級通信等でよく知らせていますか。



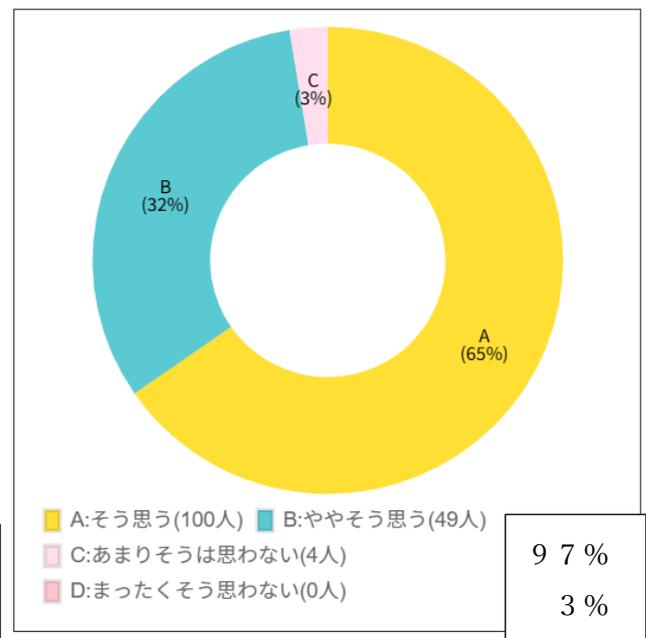
<設問 11 >

学校は進路・福祉関係の情報を適切に提供していますか。



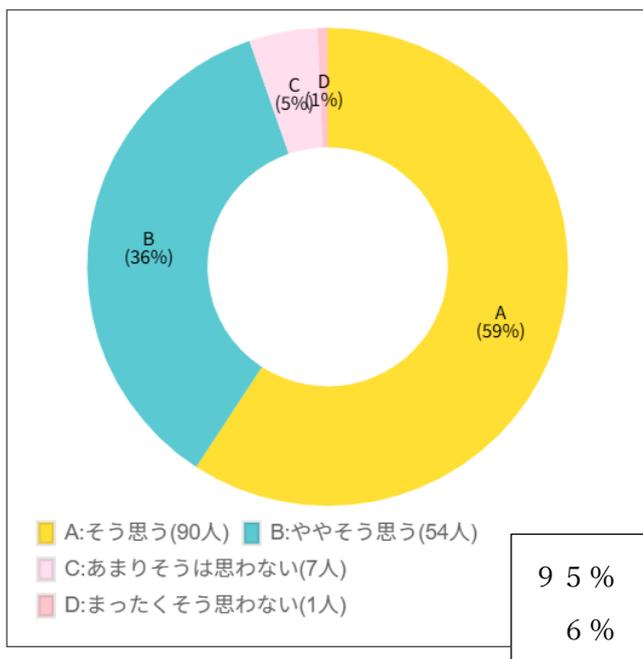
<設問 12 >

学校は交流学習や居住地校学習、地域での現場実習、作品展を通して、地域とのつながりが図られていますか。



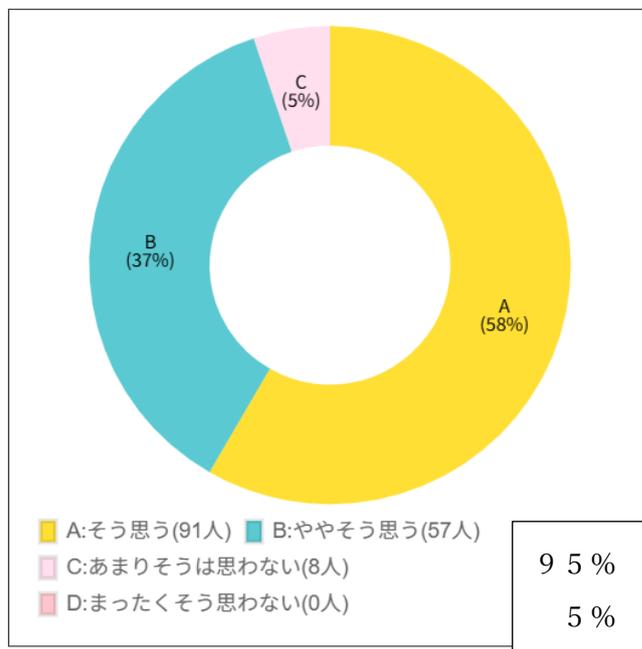
<設問13>

学校はPTA活動等において、保護者との連携を積極的に行っていますか。



<設問14>

学区徴収金や就学奨励費の事務手続きは分かりやすく行われていますか。



## 【保護者アンケート集計結果に関する分析と考察】

- 「そう思う」、「ややそう思う」を合わせて91%以上を示した項目は、「評価が良かった項目」とする。
- 「あまりそうは思わない」、「まったくそう思わない」を合わせて10%以上を示した項目は、「評価があまり良くなかった項目」とする。

評価の内容	該当項目
評価が良かった項目 (そう思う+ややそう思う：91%以上)	1～7までの全ての項目 10～14までの項目
評価があまり良くなかった項目 (あまり+まったくそう思わない：10%以上)	8、9の項目

### ●評価が良かった項目

評価が良かった項目1～7、10～14までの1項目以外の項目で、評価が95%以上となった。以下の学校の取組がおおむね評価されていると捉える。

- ・学習場面の工夫、個に応じた指導
- ・支援や指導の計画や実践に向けた、保護者との十分な話し合いと情報の共有
- ・健康に関する個々への配慮と適切な指導
- ・学習の様子や進路等の情報発信
- ・開かれた学校を目指す地域との交流学习
- ・PTA活動の積極的な取組に向けた保護者との連携

### ●評価があまり良くなかった項目

評価があまり良くなかった項目は、「設問8 校舎内外の安全・清潔」と「設問9 施設・設備の整備」であった。

#### ・「設問8 校舎内外の安全・清潔」

昨年度より5%評価があがったが、感染症流行時の「過剰な対応」、「感染状況の情報不足」などの意見があげられた。本校は様々な障害や疾病をもっている児童生徒が在籍するため、感染症流行時の対応は十分に協議し、保護者の方々にも理解と協力をいただいている。適切な対応は何かを引き続き協議し、保護者の方々や児童生徒に分かりやすく説明をしていく必要があると考えた。

また、感染状況の情報不足については、プライバシーの保護の観点にも気を付けながら、正確な情報を発信していくよう努めていきたいと考える。

#### ・「設問9 施設・設備の整備」

設備面では、トイレの劣化、図書室等の充実、体育館での活動における暑さ対策について意見があげられた。2年前にトイレの改修工事を行い、使用しやすい環境になった箇所もあるが、高等部棟のトイレは一部劣化が見られる箇所がある。これまでも県に要望等を行っているため、引き続き、施設設備の充実が図れるよう、働きかけをしていきたいと考える。

また、児童生徒が快適に、そして安心、安全に生活していけるよう、日々の安全点検や清掃等に力を入れ、現状の施設設備を有効に使用していくよう努めたいと考える。

### ●「設問7 いじめ問題」について

おおむね良い評価であった。昨年度に引き続き、情報発信や未然防止のための対応が有効であったのではないと思われる。

# 令和7年度 教職員アンケート 集計結果 (回収率：70%)

評価が良かった (A+B) %

評価が良くなかった (C+D) %

※グラフ右下の数字は、上記の数字を表す

※小数点以下は四捨五入

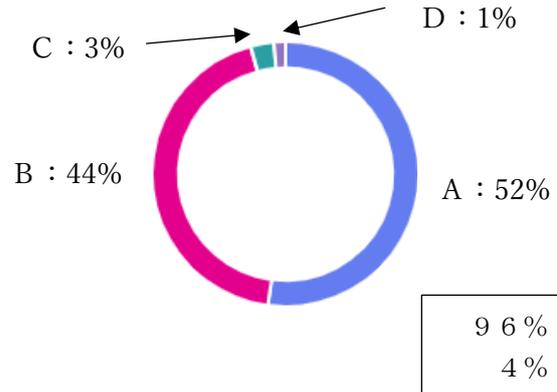
## <設問1>

教育目標は地域や児童生徒の実態に合っており、具現化するための教育計画が立てられている。



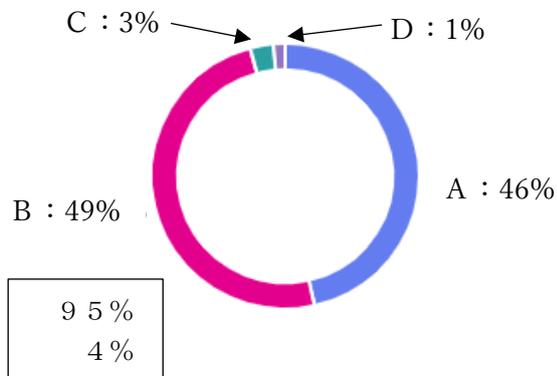
## <設問2>

教育課程の編成に当たっては、児童生徒や実態を十分に踏まえ、系統性のある調和の取れたものになっている。



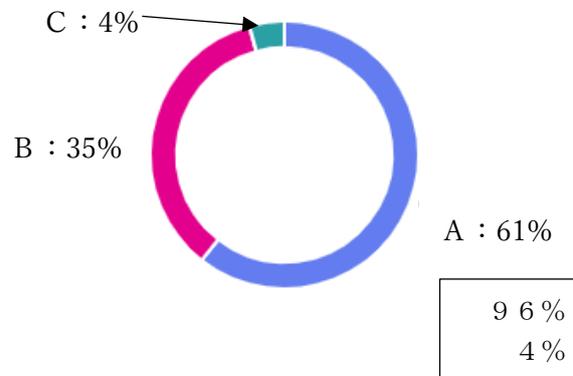
## <設問3>

教育課程全般において、編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルが図られている。



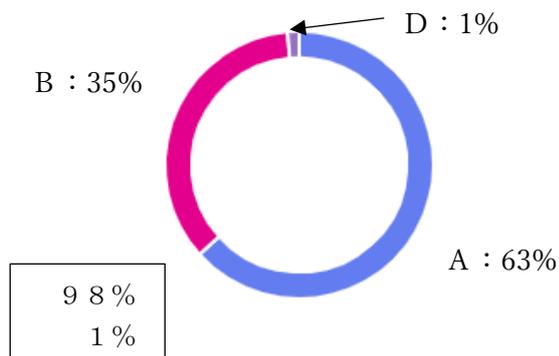
## <設問4>

個別の指導計画の作成評価は教師間で話し合いがなされ、個別の指導計画に基づいた授業づくりがなされている。



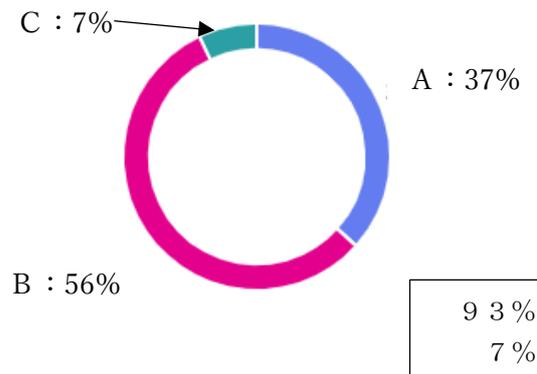
## <設問5>

適切に児童生徒を評価し、それに基づいた指導方法の工夫・改善に努めている。



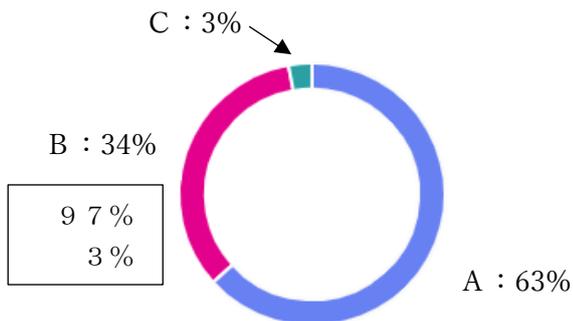
## <設問6>

施設・設備や教材・教具の充実に努め、衛生管理や整理、保管が適切に行われている。



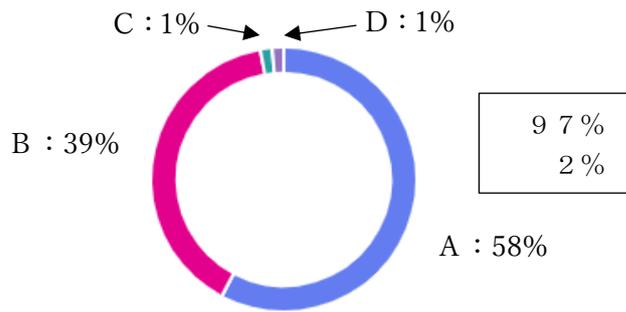
<設問 7 >

校内研究は、組織的、計画的に行われている。



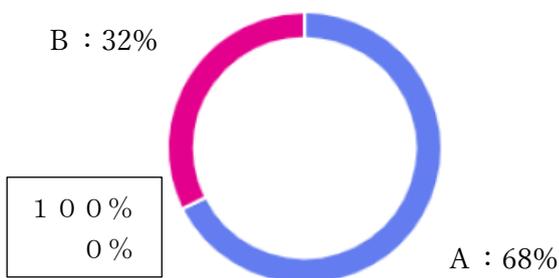
<設問 8 >

校内研修は、学校の課題に沿った内容であり、教育実践の向上に活かされている。



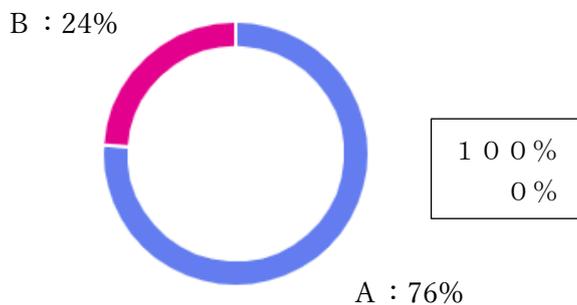
<設問 9 >

個別の教育支援計画、個別の指導計画作成、指導方法や評価について、保護者と十分話し合いができ、理解と協力を得ることができている。



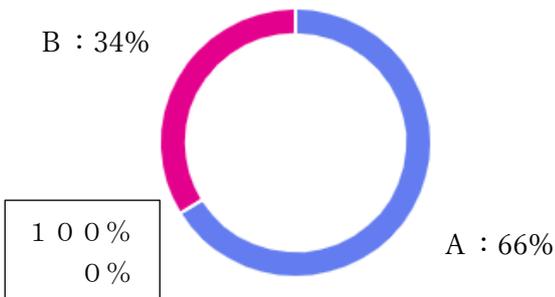
<設問 10 >

学校は児童生徒の様子を学校だよりや学年・学級通信等でよく知らせている。



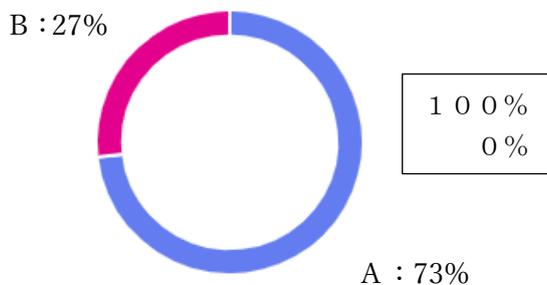
<設問 11 >

学校はPTA活動等において、保護者との連携を積極的に行っている。



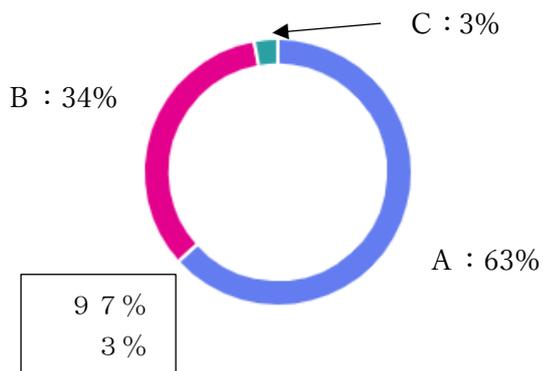
<設問 12 >

交流学习や居住地校学習、地域での現場実習、作品展を通して、児童生徒と地域とのつながりが図られている。



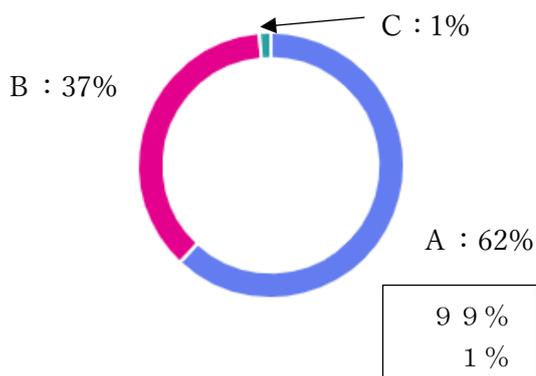
<設問 13 >

児童生徒の指導に関して、地域・関係諸機関との綿密な連携ができている。



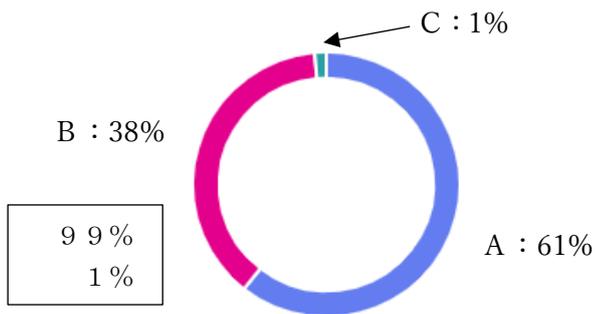
<設問 14 >

児童生徒の個人情報 はきちんと管理されている。



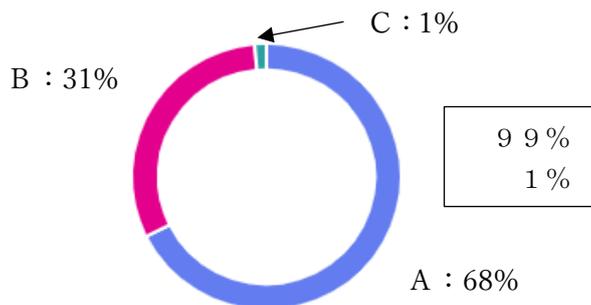
<設問15>

保護者・地域等に伝えるべき学校の情報は様々な方法で伝えられている。



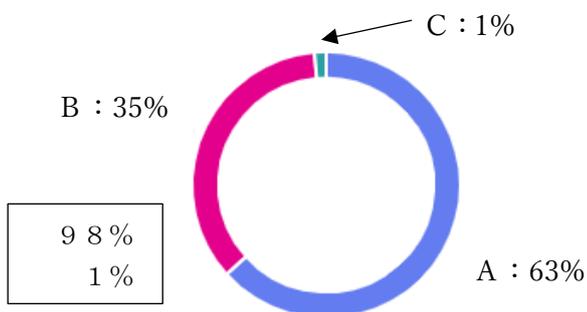
<設問16>

学校は地域のセンター的役割を十分果たしている。



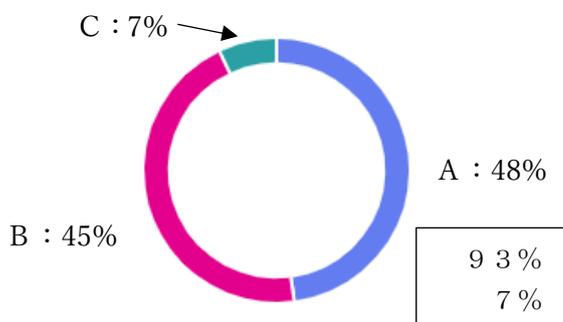
<設問17>

保護者との進路相談等を通して、進路先や福祉サービスの情報提供が適切になされ、一貫性をもった進路指導が計画的になされている。



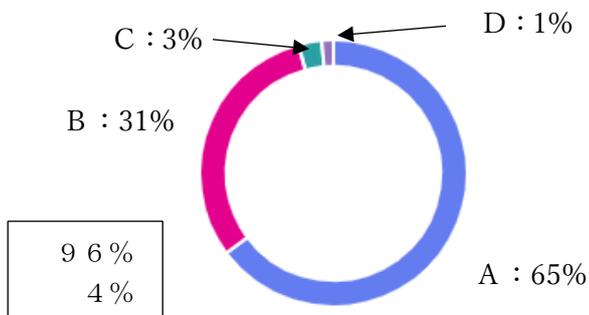
<設問18>

防災計画・不審者対策など、児童生徒の安全に関する危機管理が適切になされている。



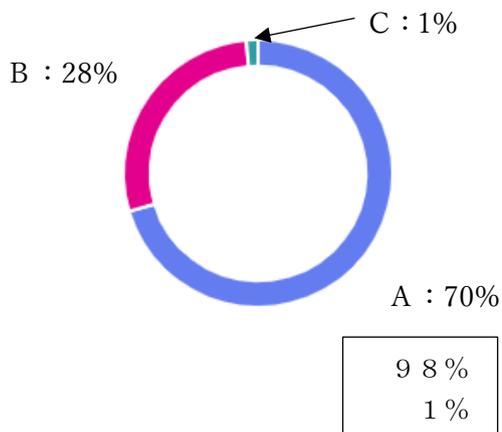
<設問19>

児童生徒が健康な学校生活を送るための観察、対応がなされている。



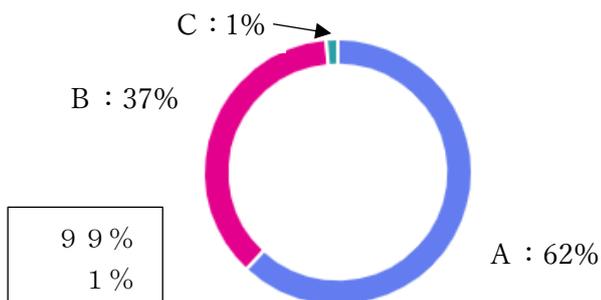
<設問20>

いじめの防止、早期発見、的確な対応が行われている。



<設問21>

会計や文書処理などが円滑にかつ迅速に行われている。



# 令和7年度学校評価アンケート 保護者アンケートと教職員アンケートの関連

※ %表示：四捨五入されているため、100を超えたり、満たなかったりするものがある。

No	保護者アンケート項目	保護者評価	教職員評価	教職員アンケート項目	学校重点目標
1	お子さんの様子から学校生活は楽しそうで充実していると感じることができますか。	95% 6%	100% 0%	①-1	1・2・3・ 4・5・6
2	お子さんへの指導は工夫や改善により、実態に応じたより適切なものになっていますか。	95% 5%	96% 4% 98% 1%	③-4 ③-5	1 2
3	保護者面談の話し合いでは、「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」、通信票などを基に、お子さんの指導について、十分な説明を受けていますか。	99% 1%	100% 0%	⑥-9	1
4	お子さんのことについて必要な面談や相談の機会がとれ、十分な情報交換がされていますか。	97% 3%	100% 0%	⑥-9	1 3
5	通信票はお子さんの成長の様子を的確に伝え、適切に評価されたものになっていますか。	98% 2%	98% 1%	③-5	1
6	学校はお子さんの健康について配慮し、適切に対応していますか。	100% 1%	96% 4%	⑩-19	5
7	学校はいじめ未然防止及び早期発見、早期対応に努め、安心して生活できる教育環境づくりに取り組んでいますか。	93% 7%	98% 1%	⑩-20	5
8	校舎内外は安全で清潔ですか。	89% 11%	93% 7% 96% 4%	④-6 ⑩-19	5
9	学校には学校生活に必要な施設設備が整っていますか。	81% 20%	93% 7% 93% 7%	④-6 ⑩-18	5
10	学校は学習の様子を学校便りや学年・学級通信等でよく知らせていますか。	97% 3%	100% 0%	⑥-10	4
11	学校は進路・福祉関係の情報を適切に提供していますか。	97% 3%	97% 3% 98% 1%	⑥-13 ⑨-17	3 6
12	学校は交流学習や居住地校学習、地域での現場実習、作品展を通して、地域とのつながりが図られていますか。	97% 3%	100% 0%	⑥-12	4 6
13	学校はPTA活動等において保護者との連携を積極的に行っていますか。	95% 6%	100% 0%	⑥-11	(4)
14	学校徴収金や就学奨励費の事務手続きは分かりやすく行われていますか。	95% 5%	99% 1%	⑪-21	

## 【教職員アンケート集計結果に関する分析と考察】

- 「そう思う」、「ややそう思う」を合わせて91%以上を示した項目は、「評価が良かった項目」とする。
- 「あまりそうは思わない」、「まったくそう思わない」を合わせて10%以上を示した項目は、「評価があまり良くなかった項目」とする。

評価の内容	該当項目
評価が良かった項目 (そう思う+ややそう思う：91%以上)	1～21までの全ての項目
評価があまり良くなかった項目 (あまり+まったくそう思わない：10%以上)	なし

### ●評価が良かった項目

全ての項目において評価が良かった。さらに項目6、18以外の項目で、評価が95%以上となった。学校教育目標や今年度の重点目標を達成に向けて、教職員個人、または学部や分掌部において努力してきた結果といえる。

### ●評価があまり良くなかった項目

評価があまり良くなかった項目は、「設問6 施設・設備、教材・教具の充実と衛生管理等」と「設問18 防災計画・不審者対策などの危機管理」であった。

#### ・「設問6 施設・設備、教材・教具の充実と衛生管理等」

昨年度より良い評価が平均91パーセントから93%にあがった。また、あまり良くない評価は平均9%から7%に下がった。昨年度の反省点に留意しながら教材教具の整理や保管、衛生管理に努めてきた結果とみられる。しかし、自由記述には教材の保管場所や不要物の処理などについての意見、衛生管理についての意見があがっている。さらに細かい所にも気を配りながら、改善していく必要があると考える。

#### ・「設問18 防災計画・不審者対策などの危機管理」

昨年後は良い評価が97%、あまり良くない評価が3%であった。今年度は、良い評価が93%、あまり良くない評価が7%と昨年度より評価が下がっている。要因としては、昨年度あげられた改善点を今年度いくつか見直し、防災計画の改善と実践に努めてきた。改善した内容を実際行ってみると、問題点や改善が必要な点がいくつかあげられた。防災アドバイザーの先生に来ていただき、アドバイスをもらったり、安全部を中心として教職員みんなで改善点を出し合ったりし、試行錯誤しながら取り組んだ年度になった。その過程での評価として、今後も限られた敷地や学校周りの様々な条件に対応しながら防災計画などの危機管理対策をしていく必要がある。

### ●いじめ問題の指導に関して

教職員対象に「いじめの問題の指導に関する個人点検」を年2回実施した。「いじめの認知」「いじめは絶対許されないという強い意識」「児童生徒と教職員、児童生徒同士の好ましい人間関係作り」「いじめの未然防止に向けた意識と取組」「担任同士の情報共有と継続指導」については、全員が「十分行っている」「ある程度行っている」と回答をしている。「行っていない」は誰もいなかったが、全教職員が「ある程度行っている」の回答に満足せず、全員が「十分行っている」という評価ができるよう、意識を高め、情報収集、情報共有、丁寧な指導と指導の過程を大事にしながら取り組んでいく必要があると考える。

### ●保護者アンケートと教職員アンケートの関連について

どちらもおおむね良い評価であったが、保護者より、教職員の方がより高い評価ととらえている。教職員同士、情報を共有しながら学校運営に努めている結果が教職員の評価として表れているが、保護者の求める内容がより高いものであったり、より細かい視点での内容について要望があったりしていると見受けられる。

保護者や生徒からの意見を大事にしながら、引き続き改善や工夫を図った学校運営に努めていき、情報共有を図っていく必要があると考える。